

## 豊里まちびとギャラリー

## あなたの作品を展示してみませんか

豊里町の皆さんが制作した作品や、収集・保管している貴重品を展示・発表するコーナーを公民館内に開設しました



## 【場所】

- ・公民館ロビー 展示コーナー
- ・スペース（幅463cm×奥行144cm×高さ218cm）

## 【展示物】

- ・絵画、書、手芸、写真などのほか、代々伝わる遺物や趣味で集めた物品など

## 【応募資格】

- ・豊里町内に住所または勤務する人

## 【利用料】

- ・無料
- その他要件やルールについては  
公民館にお問い合わせください

2026

総務部会



昨年もたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました  
今年もどうぞよろしくお願い申し上げます

豊里コミュニティ推進協議会役員一同 豊里公民館職員一同

1月の  
行事予定

| 日 時             | 行事内容           | 場 所     |
|-----------------|----------------|---------|
| 1 1 日(日) 10時00分 | 囲碁・将棋サークル⑥ 対局  | 公民館 研修室 |
| 2 5 日(日) 8時30分  | わくわく社会体験⑥ 移動研修 | 仙台方面    |

1 2 月 2 9 日～1 月 3 日は休館です

## 公民館だより

TOYOSATO COMMUNITY

No.  
153

1月号

令和8年1月1日発行



絵本の世界に入り込んだ気分を味わう「えほんさんぽ」も実施しました。

「えほんさんぽ」は、公園内を歩きながら「まじいかたちを みつけよう」や「おおきな はっぱを さわってみよう」など5つのミッションに挑戦するものです。クリアしたものから順に、カードにシールを貼っていきます。

すべてクリアしたチャレンジャーには、記念撮影をしてその場で写真をプレゼントしました。



## 読み聞かせのひととき



読み聞かせサークル「おおきな木」の皆さんによる読み聞かせでは、子どもたちが選んだ絵本をピアノ演奏を交えて紹介し、興味津々に耳を傾けていました。



豊里が舞台の  
オリジナル絵本

# 効果実感★からだケア

## 骨盤ストレッチ最終回



先生のアドバイスを聞く参加者

骨盤ストレッチの教室は11月4日に最終回を迎え、骨盤、肩、ひざなどほとんどの人が痛みを抱えやすい箇所を中心に、ストレッチと呼吸法を学びました。

これまでのまとめで身体の細かい動かし方も再確認しました。

講師の千葉香織先生

(石巻市)は一人ひとりに寄り添う指導をしてくださり、参加者の皆さんからは、効果が得られているとの声が多く聞かれました。

日常生活に取り入れやすい動きなので継続して実践し、無理なく身体のコンドーションを整えていきたいですね。

## わくわく社会体験

11月15日

ステップ5

売上金活用  
検討会議



意見を出し合う子どもたち

先日の軽トラ市でサツマイモ屋さんを体験した「わくわく社会体験」参加者の子どもたちですが、その売上金を何に活用するか検討する会議を行いました。

映画を観に行く、お菓子作りをするなどの

ほか、「みんなの家に遊びに行くツアー」など子どもらしいユーモアのある意見も飛び出しました。

最終的に全員の意見をまとめ、水族館訪問と職業体験をするツアー実施に決定しました。

## 伝統から学ぶ 地域づくりのヒント



たくさんの人でにぎわう互市の通り

地域づくり部会(佐々木伸雄部会長)は今後の「とよさと軽トラ市」運営の参考にするため、11月10日に鹿島台互市を視察しました。

鹿島台互市は、明治43年(1910年)に鎌田三之助村長が村民の

福利を図ろうと始めたもので、東北最大級の規模を誇る伝統の互市です。

毎年春と秋に開催され、鹿島台駅前から約600メートルの区間に、約180店の露店が並びます。

当日はあいにくの雨模様でしたが、買い物客で通りはにぎわい、昔ながらの活気を感じることができました。

農海産物やグルメ、手工芸品の店がずらりと並ぶ様子や、行政や地元高校生が活動をPRする姿もあり、地域の人たちが協力しながら伝統を大切にしていることが伝わってきました。

参加した部会のメンバーにとっても、今後の軽トラ市運営に活かせる貴重な学びの機会となりました。

今後も地域のつながりを大切にしながら、より楽しい地域づくりを目指していきたいと思ひます。



刃物などの日用品もずらり

豊里公民館・豊里教育事務所・豊里小中学校・北上川漁業協同組合 共同事業

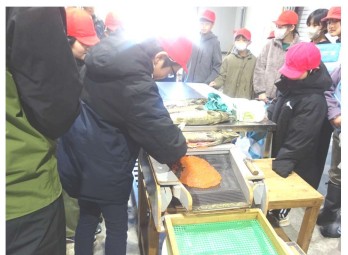
## 命のつながりを見つめて



ウロコの採取に挑戦する児童



サケを観察



採卵を体験

豊里小学校5年生を対象に、北上川へ遡上するサケの捕獲から採卵、稚魚の放流までを学ぶ恒例事業を今年も実施しました。

11月19日には脇谷洗堰で、「とよま北上川 かつぱの会」の船嶋茂昭さんを講師に迎え、事前に捕獲したサケを間近に観察しながら生態についてお話を伺いました。

続いて実際に川でサケを捕獲する様子を見学し、子どもたちは迫力ある光景に見入っていました。

その後、北上川漁協「大嶺ふ化場」(東和

町)へ移動し、体長測定や採卵を体験。サケはウロコで年齢が分かることを教わり、職員の指導を受けながら、ピンセットで丁寧にウロコを採取していました。

採卵は代表児童が行い、周囲では息をのんで見守り、熱心にメモを取る姿も見られました。

これらの体験を通して、子どもたちは自然と命の大切さについて深く考える時間となりました。

来年2月には、水辺の公園で稚魚の放流体験を行う予定です。

## パソコン楽しくこれからも



閉講式では本間公民館長から修了証書を授与

今年度初めてエクセルの操作に挑戦したパソコン教室は、11月18日に最終回を迎えました。

ワードを使用した文字入力中心の学習に比べ、エクセルは細やかな機能の操作が多く、

参加者の皆さんは新しいスキルの習得に励みました。

「実施回数を増やしてほしい」との声もあり、来年度も継続してパソコンに触れる機会を作っていきたいと思ひます。

## 訓練を 実施しました



毎年2回実施している消防訓練ですが、今回の多目的研修センターでの訓練には、児童クラブの子どもたちも一緒に参加してくれました。

消火器の体験では、「火事だー!」と大きな声で周囲に知らせる頼もしい姿が見られ、初めて触れる消火器の水の勢いに「すごい!」と驚く声も上がっていました。



消火体験をする子どもたち